

# 第3回 持続的リン利用シンポジウム



2017年11月21日(火)

10:00 - 17:25

**参加無料** 参加頂くには事前登録が必要です。

早稲田大学大隈記念講堂  
小講堂

主催 早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所  
<http://www.waseda.jp/prj-p-atlas/>

共催 リン資源リサイクル推進協議会  
<http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/>



ATLAS  
リンアトラス研究所

# 第3回 持続的リン利用シンポジウム

主催

早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所

共催

リン資源リサイクル推進協議会

後援

(一社)日本有機資源協会、日本肥料アンモニア協会

(公社)日本生物工学会、環境バイオテクノロジー学会、無機マテリアル学会、(公社)日本化学会

平成 29 年 11 月 21 日 (火) 10:00 ~ 17:25

早稲田大学大隈記念講堂 小講堂

東京都新宿区戸塚町 1-104

リンは、すべての生命にとり欠くことのできない「いのちの元素」です。日本人の平均寿命はいま 80 歳を越えていますから、国民ひとりが生涯に必要とするリンの量は約 30kg にもなります。にも関わらず、わが国には資源と呼べるだけのリンはなく、私たち日本人の体を構成しているリンのほぼすべては海外から持ち込まれたものです。言い換えれば、日本人の DNA や骨に含まれるリンはみな外国製の輸入品なのです。

驚くことに、日本にはリンについて専門的に研究をしている国の機関はどこにもありません。このため日本にはリン資源について科学的にしっかりとした根拠に基づいて議論をするための土台ができていません。「リンのない」日本にとって、リンに関する情報を正しく提供できるデータベースの構築は極めて重要です。いままさに、リンについて科学的な調査研究を行うことそれ自体がイノベーションなのです。

このため、リンに関する情報を集約するための第一歩として、このたび朝倉書店さんから「リンの事典」を出版することに致しました。わが国でリンに少しでも関わっておられる研究者および技術者をほぼ総動員し、総勢約 150 名の執筆者が約 170 にものぼる項目を分担執筆しました。本シンポジウムは、わが国初の「リンの事典」の発行を記念致しまして早稲田大学で開催致します。シンポジウムでは、リンのサイエンスと産業利用から持続的リン利用と社会の関わりまで、リン問題を俯瞰できる広範なトピックスを取上げ、わが国において持続的なリン利用を実現するための課題と展望について総合的に議論します。

## 開会

総合司会 松尾真紀子 東京大学 公共政策大学院

10:00 - 10:05

開会挨拶

花井俊介

早稲田大学総合研究機構長

10:05 - 10:15

趣旨説明

常田 聡

早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所所長

## 展望講演 「Pイノベーション」

10:15 - 10:40

大竹久夫 早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所

## 第1セッション 「リンのサイエンス」

司会 常田 聡 早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所

10:40 - 11:05

杉山 茂

徳島大学大学院

「リンの化学」

11:05 - 11:30

小野寺真一

広島大学大学院

「リンの地球科学」

11:30 - 11:55

黒田章夫

広島大学大学院

「リンの生物学」

11:55 - 12:20

竹谷 豊

徳島大学大学院

「人体とリン」

広い視点で「リン」のサイエンスとして面白さと重要性をわかりやすく解説します。

12:20 - 14:00

休憩

「リンの事典」の販売(予約受付)

## 第2セッション「リンの利用」

14:00 - 14:25

14:25 - 14:50

14:50 - 15:15

15:15 - 15:40

司会 三島慎一郎	国立研究開発法人農研機構	農業環境変動研究センター
菅原和夫	小野田化学工業株式会社	「農業利用」
國貞眞司	三國製薬工業株式会社	「工業利用」
佐藤和明	早稲田大学総合研究機構	「リン回収技術（技術的視点から）」
松八重一代	東北大学大学院	「リンリサイクル（社会的視点から）」

リンが産業と社会にいかに重要であり、持続的リン利用に何が必要かをわかりやすく解説します。

15:40 - 15:50

## 休憩

## 第3セッション「持続的リン利用をめぐる総合討論」

15:50 - 17:20

司会 大竹久夫	早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所
杉山 茂	徳島大学大学院
小野寺真一	広島大学大学院
黒田章夫	広島大学大学院
竹谷 豊	徳島大学大学院
菅原和夫	小野田化学工業株式会社
國貞眞司	三國製薬工業株式会社
佐藤和明	早稲田大学総合研究機構
松八重一代	東北大学大学院

第1および第2セッションの講演に関する質疑応答を含め、持続的リン利用への取組みの今後の課題と展望を語ります。

## 閉会

17:20 - 17:25

成田義貞

リン資源リサイクル推進協議会副会長



11月刊行予定

## リンの事典

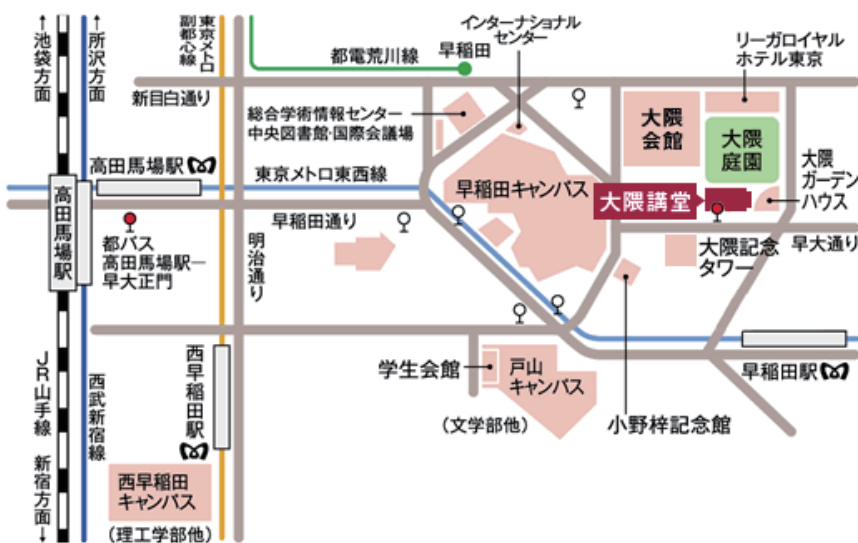
大竹久夫 編集代表

A5判 368頁 本体8,500円+税  
ISBN978-4-254-14104-7

元素リンの本邦初の総合事典。  
その基本的な性質・用途など全体像を俯瞰。

# 会場案内

## 早稲田大学大隈記念講堂 小講堂



(早稲田大学校友会ホームページより)

<大隈小講堂 会場入口>



### 【連絡先】

〒162-8480 東京都新宿区若松町2番2号  
早稲田大学先端生命医科学センター内リンアトラス研究所  
TEL:03-5369-7325

参加費は無料ですが事前登録が必要です。  
事前登録には【お名前】【ご所属】【E-mailアドレス】を記載の上、  
下記アドレスへメールをお送り下さい。

電子メール：P-Sympo@list.waseda.jp

